

第5学年 社会科学習モデル指導案

1. 単元名 「米づくりのさかんな地域」
2. 本時について

(1) 本時の目標

○米が届くまでに関わる仕事を理解し、米づくりを米の生産者の側面だけでなく、運輸や販売、消費者の立場で考えることで、様々な人との関わりや思いを考える。

(2) 本時の展開(最後の15分の展開)

分	教師の支援	学習活動
5	<p>○米どころの米の送り先について調べた後に、米が私たちの家に届くまでに、どんな仕事の人に関わっているか予想させる。</p> <p>○児童から出た仕事を、板書する。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR A((生産者 農家)) --> B((?)) B --> C((消費者 家庭・店)) </pre> </div> <p>○米の値段には、生産以外の費用がかかっていることをまとめる。</p>	<p>T：米が私たちに届くまでに、農家のほかにどんな仕事の人に関わっていますか。</p> <p>C：米を運ぶ人</p> <p>C：米屋さんや、コメ売り場があるスーパーの人</p> <p>T：米の値段には、生産にかかる費用のほかに、私たちのもに届くまでの仕事にかかる費用が関係しています。</p>
<p>☆ワークシート「かかわる人の思いを考えよう」を配布し、それぞれの仕事をする人の思いについて考えさせる。</p>		
7	<p>○記入した内容を発表させる。</p> <p>* どの立場かを明確にして発表させるようにする。</p> <p>* 学習した生産者や、自分たち消費者の立場は考えやすいので、特段、運ぶ人や売る人にスポットをあてるようにする。</p>	<p>C：農家の人は、消費者が安心しておいしく食べてくれる米を生産したいのだと思います。</p> <p>C：運ぶ人は、生産者の思いを届けるために、品質が下がらないように工夫していると思います。</p> <p>C：販売する人は、米の特長や良さなどを消費者に伝える工夫をしています。</p> <p>C：お母さんは、安全でおいしいお米をいつも選んでいます。少しでも安いと嬉しいと言っています。</p>
3	<p>☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。</p>	
<p>米だけでなく、品物が私たちのもに届くまでには、生産者だけでなく、様々な人がそれぞれに思いをもって関わり合っています。その思いは、共通して、最後にお金を払って購入する私たち消費者の気持ちをくんでいます。それは、それぞれの仕事でかかる費用を、消費者が負担するからであり、消費者が買うものを選んでいくからです。何気なくある身の回りのものは、いろいろな仕事をする人が思いをもって関わってきていることを学びましたね。将来どんな仕事につくかわからないけれど、どんな仕事でも人と関わり合い、何かの立場の一員となっていくんですね。</p>		

